

# 新商品のご案内

## 紅茶パウンドケーキ

定番の人気商品『紅茶クッキー』にうれしい仲間が増えました!

アールグレイ風味の紅茶パウンドケーキの登場です。おなじみのフルーツパウンドケーキや、たっぷりココアのマーブルケーキと共に、焼けたらすぐ完売の大人気トリオ♡を是非ご賞味ください! ￥150/1切れ



## クレセント



三日月をイメージしたココア生地とプレーン生地をペアにした、フィナンシェ風ケーキ(全卵ではなく卵白のみを使用)です。フィナンシェの特徴ともいわれる焦がしバターの香りがほんのり広がるリピーターの多いケーキです! ￥150/1セット



## フラワーガーデン

可愛いお花の形をした、まるでお花畑のような可愛いクッキー。お花の上に乗せたシュガーがおいしさを一層引き立てています。

￥100/1袋



## 清掃や草刈り

ふきのとうでは清掃や草刈りなども承っています。お気軽にご連絡ください。



編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会  
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0742-84-7738  
HP <http://www.fukinotou.or.jp/>  
E-Mail [fukinotou1099@fukinotou.or.jp](mailto:fukinotou1099@fukinotou.or.jp)  
発行人 関西障害者定期刊行物協会  
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F

定価: 10円



## 童謡「赤蜻蛉」によせて

社会福祉法人ふきのとう 理事 古泉 健二

以前この紙面で、童謡『七つの子』にまつわるお話を紹介しましたが、今回は三木露風一山田耕筰のコンビによる『赤蜻蛉』についてお話ししたいと思います。

露風は兵庫県竜野市の名家に生まれましたが、父親が放蕩三昧を尽くし、露風が5歳のときに母親は幼い弟だけを連れて実家に帰ってしまいました。露風は祖父母のもとに引き取られ、淋しい子供時代を送ることになります。

露風が『赤蜻蛉』を書いたのは大正10年函館のトラピスト修道院で、病氣療養中に窓の外に赤とんぼを見て、母を慕った遠い昔を思い出して作ったと云われています。

1 番の歌詞「夕やけ小やけの赤とんぼ 負われて見たのは いつの日か」は、露風を背負って、幾日も帰らない夫を村外れで待つ母との思い出。

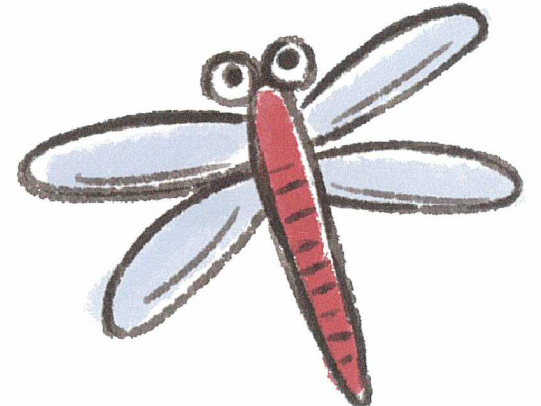
2 番の歌詞「山の畑の桑の実を 小籠に摘んだは まぼろしか」は母との離別後、子守として雇われたねえやとの思い出。露風はこ

のねえやに幼い恋心を抱いていたそうです。

3 番ではそのねえやも 15 歳になりお嫁に行ってしまう、いつしか便りも届かなくなって、露風は再び孤独な少年に戻ってしまったことが伺えます。

4 番の歌詞の中の「赤とんぼ とまっているよ 竿の先」は露風が 12 歳のときに学校で作った句で、普通秋茜類は群れて飛ぶことが多いのですが、竿の先の一匹の赤トンボに自分の孤独を重ねていたのでしょう。

作曲した山田耕筰と三木露風との出会いについても興味深いドラマがありますが、長くなりますので、また機会があればお話ししましょう。



## ふきのとうの動き

- 令和元年 6月25・26日 ミ・ナエラ前花の植栽
- 7月 4日 セタイイベント
- 18日 神戸日帰り旅行
- 8月 6日・8日 映画鑑賞

- 8月10・11日 柳本校区納涼夏祭り
- 14日~18日 夏季休業
- 8月 5日~9月13日 介護実習受入れ (教職員免許取得)

一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月二・二・三・四・五・六・七・八の日 発行

## ミ・ナーラ前花の植栽



令和元年 6月 25日・26日の2日にかけて奈良市大宮通り、「ミ・ナーラ」前の歩道に花の植栽をする

お仕事を請け負いました。

掃除から肥料を混ぜるところまでを1日目に、2日目は花を植えて水をやる場所までの作業を行います。実は以前もしたことがある作業で、何色の花をどの順番に、且つきれいに並べて植えればよい



かを考えながらの作業でしたが、みんなきれい植えることができました。

もし奈良市のほう

へお越しになり、大宮通りを通られることがありましたら、是非「ミ・ナーラ」前の歩道を歩いてみてください。きれいな花が皆さんを迎えてくれると思いますよ！



## 神戸目帰り旅行

令和初めての旅行は神戸南京町・北野工房へ行ってきました。

行きのバスではDVDを見ながらおやつを食べ、あっという間に神戸南京町に到着。南京町で集合写真を撮ってから皆が楽しみにしていた『神戸君悦飯店』での中華料理のコースを堪能しました。メニューは三種冷菜の盛合せ・芝海老のチリソース・ふかひれスープ・黒酢の酢豚・チャーハン・デザートとお店からのサービスでゴマ団子を頂きました。どの料理もとても美味しく、みんなぺろりと食べ終わりました。



食事のあとは今食べたばかりなのに南京町を食べ歩きながらバスへ戻り、北野工房へ！



北野工房は震災前は北野小

学校という小学校で、被災で残った校舎を利用しているそうですが、小学校の雰囲気が今も残っていました。その中で

令和元年7月18日



私たちはレザークラフトの体験としてコインケースを作りました。自分たちで皮とモチーフを選び、どこに付けたらいいかを悩みながら木槌をふるって作成し、一人ひとり違った素敵なケースに仕上がりと、とてもいい経験になりました。

帰りは大雨に渋滞で帰宅時間が遅くなりましたが皆が無事に帰ることができてよかったです。

ふきのとうの素敵な思い出がまた一つ増えました。

## 夏祭り



令和元年 8月 10日・11日  
二日間ともとても暑い日でしたが、模擬店での販売をすることができました。



『五平餅』・『唐揚げ』・『たこせん』・『酵素ジュース』を販売しましたが、昨年に比べ売れ行きも順調で、1日目は早い時間に完売、二日目も最終の花火までには販売終了しました。特に唐揚げが大人気で、まさに飛ぶように売れてゆきました。

スタッフ・メンバーの親御さんやメンバー間の連携もよく、暑い中でも気持ちよく運営ができました。

最後は柳本小学校越しに見える花火が盛大に場を盛り上げてくれました。

## 映画「星に語りて」鑑賞

日時 8月6日(火) サントアースⅡ  
8日8日(木) ふきのとう  
(上映時間約2時間)

昨年11月の「夜明け前」の映画鑑賞に引き続き、きょうされんが40周年記念事業として制作した『星に語りて』をメンバーさん、スタッフ、家族会の皆様、理事・評議員がいっしょに鑑賞しました。今回の映画は、東日本大震災を背景に災害で被災した障害者と支援者たちの活動を、実話をもとに描いたヒューマンドラマです。

舞台の一つは被災地岩手県陸前高田市にある作業所A。震災でなかまを失い落胆する職員・利用者たちが女性所長と共に日常を取り戻そうとするドラマ。もう一つは同じく被災地南相馬市。障害のために様々な理由で避難できず取り残された人々を救うため、個人情報保護法という法律の壁に立ち向かいながら、人権と人命救助との狭間で苦しむ支援者たちを描いています。

この映画では本物のニュース映像を挟み、俳優や実際に障害のある方が出演し、美しい景色の中でおきた過去の震災を描きながら、全ての人にいずれ訪れる未来の有り様を語りかけて



東日本大震災による傷跡は、未だに私たちの心の中に深く刻まれています。1万8千人を超える死者・行方不明者の中で、障害のある人の死亡率が2倍ということを知り、改めて防災対策についての重要性を感じさせてくれました。